

# 柵の木からの手紙

2019年 4月号



早い雪解けの様に感じていた3月。暖かさと寒さの訪れの中で寒さの方が優っているのでしょうか。畑の土が見え始めたと思うと僅かに雪が降り、大した積雪では無いのに中々融けない。こんな繰り返し。3月30日8時過ぎ、多数の白鳥が頭上を北へ向かいました。姿を現し始めたアスパラの殻に残る赤い実を求めてヒヨドリが訪れ始め、畑の土の色も白色に優って来ている様です。

4月4日には、朝2cm程の積雪で白銀の世界でしたが、昼には、融雪作業をした一般畑は9割以上、自然畑は7割程の雪が無くなりました。5日には、自然畑も9割の雪融けになりました。

4月 卯月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

今年4月は選挙の月。戦後は物質文明の発展と人々の努力の基に日本が発展し現在に繋がっていますが、先進諸国に例を見る様に少子高齢化の人口減少社会が目に見えています。5月初めの皇位継承に向けて発表された新元号は、「令和」。初めて日本の国書「万葉集」から選出された元号で、その意味合いには精神性を感じます。新しい時代が、物質文明と精神文明の融合が図られる様な社会である事を願って選挙に臨みたいものです。



5日： 清明 ；新月 旧 3月 1日

9日： 美幌町町長候補・町議候補演説会

場所：びほーる 時間：18時から

19日： 満月 旧 3月15日

20日： 穀雨

あれから1年！ 昨年3月31日を持って廃止された「主要農作物種子法」。北海道では、種子法廃止後も従来の職務を継続してきましたが、北海道議会は、この3月6日に北海道独自に主要農作物等の種子生産及び普及や品質の確保等を図る条例「北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例」が成立し、4月1日から施行されています。

種子法の廃止後、国内的には種苗法を重視している様ですが、農家としては悪意の無い自家採種等が規制される事を危惧しています。また、「遺伝子組み換え」に代わって「ゲノム編集」が注目され、この夏にはゲノム編集食品が食卓に上がり始めるかも知れません。どちらにしても遺伝子操作ですが自然界での突然の出来事が、自然界の永い時間の中で淘汰されたり受け入れられたりする事が本来の姿。消費者としても、注視していきたい動きです。